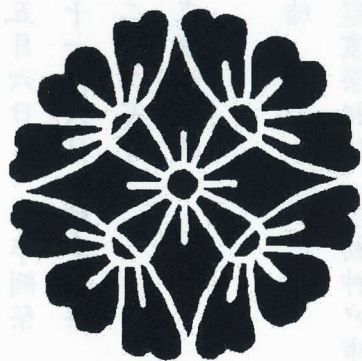


兵庫縣神戸護國神社



御由緒略記



護國神社案内図



- 阪急六甲駅より市バス②系統三宮行き
護国神社前 下車
- JR三ノ宮駅より市バス②系統
阪急六甲行き 護国神社前 下車

兵庫縣神戸護國神社

兵庫県神戸市灘区篠原北町4-5-1

TEL 078-882-1700

鎮座地 兵庫県神戸市灘区篠原北町四一五一

御祭神 兵庫県東部 丹波・摂津・淡路（十三市一郡）ゆかりの英霊

五万三千二百五十七柱

例祭日 五月六日 春季例祭

十一月六日 秋季例祭

境内地 二千二百坪

境内神社 末廣稻荷社

由緒

戦没者の慰霊祭祀は、当初神戸市兵庫区会下山に招魂斎庭、祭壇を設け、毎年官民合同で斎行されていた。やがて、英霊の勲功を顕彰する為には社殿を建立し、永久に御奉斎すべしとする県民各層の熱意で、関西学院跡地約三千坪に素木流造の神殿・諸社殿が建立された。昭和十六年六月には内務省指定の「護国神社」に列せられたが、昭和二十年六月五日 神戸大空襲の為、荘厳な社殿及び境内の建物は壊滅的な被害を受けた。戦後社号を「兵庫御霊神社」と改称せざるを得ないなど危機的状况にあったが、昭和二十五年に兵庫県神戸護国神社奉賛会が設立され、社殿の復興事業を進めた。昭和二十七年には社号も「兵庫縣神戸護国神社」と復称、昭和三十二年一月に社務所が落成、昭和三十四年十一月に新社殿も復興し、その後も境内整備・本殿改修が進められた。平成七年の阪神大震災では社務所半壊などの大被害があったが遺族崇敬者の熱誠により、平成八年十一月には阪神淡路大震災被害修復竣工奉告祭が執行された。境内には、華と散られた英霊をお慰めする為に植樹された桜が凜として美しさを白わせている。

諸祭儀 頌徳祭（月例祭） 毎月十八日

建国記念日祭・初午祭 二月十一日

終戦記念日祭 八月十五日

催し 護国神社茶華道会『稜風会』 毎月第二日曜日

バザールイン六甲（骨董市） 毎月第四日曜日

桜祭り 三月下旬～四月中旬

献灯盆踊り 七月下旬